

# 砺波市立太田公民館

## ◆事業の目的

農作業を通し、自然の大切さ、伝統文化を学ぶと共に、三世代交流による米作りを体験し、収穫の大変さと喜びを感じる。又、地域を流れる庄川を利用し、自然の中に生きる植物、魚などを観察しながら、自由に泳ぎ、庄川の自然に親しむ。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月26日(土)	赤米作り(田植え)	地区内圃場	75名
7月16日(月)	庄川の自然と親しもう(1)	庄川河川敷	87名
7月27日(金)	庄川の自然と親しもう(2)	庄川河川敷	48名
10月27日(土)	赤米作り(稲刈り・稲干し)	地区内圃場	70名
11月24日(土)	赤米の収穫祭	太田公会堂	69名

## ◆事業の様子

### ☆ 赤米づくり

田植えは、赤米の由来を聞いた後、苗の持ち方、植え方等の説明があり、各自裸足で水田に入った。上級生は昨年も経験していて上手であったが、下級生は大変だった様である。子供達は水田に足を取られながらも、杵目に従って苗を2～3本ずつ丁寧に楽しそうに植えていた。

稲刈りでは、鎌を使い一株ずつ刈った後、ワラを使い稲の束ね方、また、束ねた稲の干し方を、年配の方に習い、行った。子供達は真剣な表情で作業をしていたがなかなか上手に出来ない作業である。来年も挑戦しよう。

### ☆ 庄川の自然と親しもう(1)(2)

昔から地域との深いかかわりをもってきた庄川の歴史について説明し、クイズ(庄川の長さ・ダムの数・太田橋の長さ等)を楽しんだ後、各自川に入り、泳いだり、水中観察や魚捕りをしたりして、楽しく自然に親しんでいた。

川から上がった後、1回目はスイカ、2回目は庄川で捕った鮎の塩焼きを美味しく食していた。両日とも大変暑い日になり、川に入るには最適であった。

### ☆ 赤米の収穫祭

当日は、赤米ごはんが炊けるまで、お米について学び、ゲーム、クイズで遊び楽しんだ後、みんなで植え、刈取った赤米でおにぎりを作り、収穫の喜びを感謝しながら、皆で美味しく食した。

最後に、赤米のワラを利用し、正月飾りのしめ縄作りを、高齢者の方に教わりながら作った。子供達は、悪戦苦闘して作ったしめ縄に満足そうな笑顔を見せていた。作ったしめ縄は、一年間家で飾るように指導する。



## ◆事業の成果と課題

地域の豊かな自然の中で、三世代交流を通し、伝統文化を学び、故郷を愛し、故郷を理解する心を育てる有意義な事業であると思う。赤米作りは毎年行っているが、今後も続けたい。又、庄川の歴史等を説明し、水の恐さ、有り難さを理解させる事業にしたいと思う。